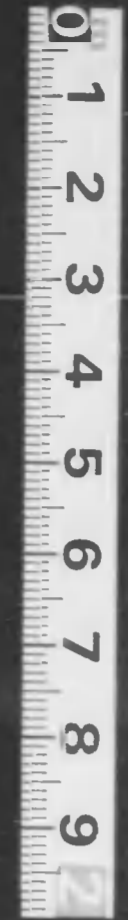


編輯局報情
シセ十・號三十九百二第日三十月十

寫眞
週報

戦力増強をこの腕に



至上の命を織手にうけて
戦地の兄に飛機を兵器を
少しも多く造つて送らう—

—この氣持、この決意

汲んで迎へん
職場の長たちよ

一億戦闘配置につく秋に

榮ある比島独立を前に

独立準備委員長 ラウレル氏一行來訪す



帝國政府の招きに應じて來訪の比島獨立準備委員長ホセ・ビ・ラウレル氏、獨立準備委員長ホルヘ・ビ・バルガス氏、同ベニグノ・エス・アキノ氏の一行は九月三十日空路志なく東京空港着、入京した
本年中に獨立の榮譽を公約する帝國聲明に應へて比島では、さる六月二十日ラウレル氏を主席とする獨立準備委員會を設置して銳意その準備を進め、九月七日國家創建の基礎をなす比島憲法草案の決定、次いで九月二十五日國民會議滿場一致を以てラウレル氏が初代大統領候補に當選、こゝに比島獨立の基本的な要件は殆んど完備するに至つたので、ラウレル氏一行は獨立を前に來訪、獨立準備その他について、東條内閣總理大臣はじめ要路の人々と協議をとけて歸國した
寫眞は東京空港でのラウレル氏(右)と出迎への天羽情報局長

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい



民衆の前に憲法草案に署名するラウレル氏

榮ある比島独立を前に 比島憲法草案 決定の日

憲法草案に署名の獨立準備委員（向つて右から
ラウレル、アギナルド將軍、セバスチヤン書記長、マキノ
第二副委員長）



ラウレル委員長以下二十名の比島獨立準備委員が二月餘りの血のにじむ努力によつて完成された比島憲法草案は、去る九月六、七日の兩日に亘り、マニラ市國會議事堂において開かれた比島獨立準備委員會議、行政府要人、並びにカリバ各地代表よりなる特別全島代表者會議によつて滿場一致承認され、正式にその決定をかた。かくて、さる六月東條總理の重大聲明

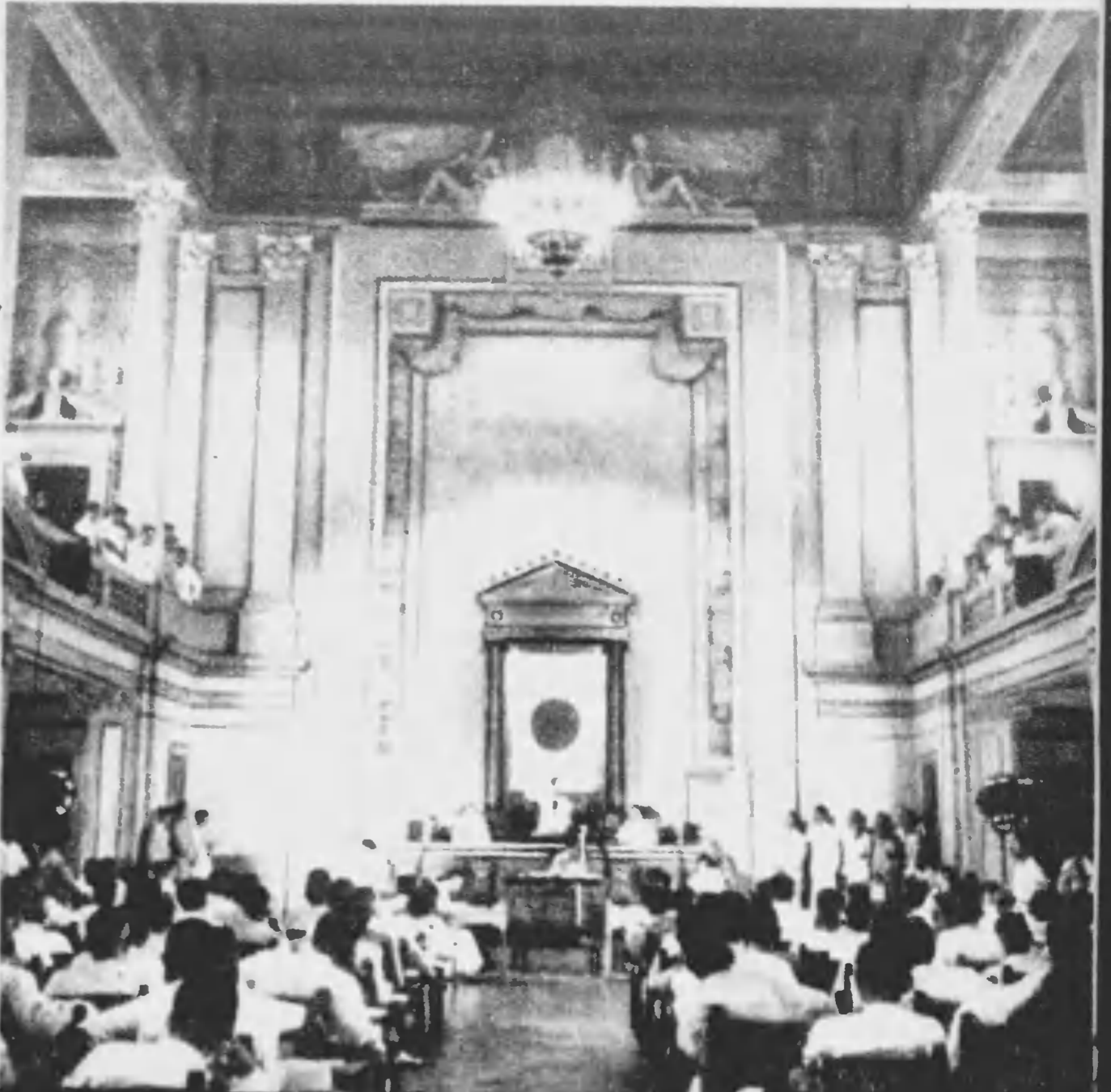
以來僅かに三ヶ月、わが強力なる支援と比島民衆の獨立への熱意によつて、早くもここに比島再建への輝かしい第一段階を劃したのである

會議第二日、承認決定を前にしてラウレル委員長は壹々一時間以上にわたる演説を行ひ、比島獨立に寄せられてゐる帝國の厚意を深く謝すと共に「獨立後は、比島人は再び外國族を己が國族にすることはないので」と力強く結んだが、喜びに沸く國會議事堂を中心に、全比島を蔽うた『新比島建設の歌』と歡喜こそ、明日の獨立と共に共榮團の一員としてあくまで大東亞戰爭を戦ひ抜く決意を十分現はせるものであつた

輝かしい獨立を目前に新生比島の意氣を予す民衆の一大行進 手前は獨立準備委員



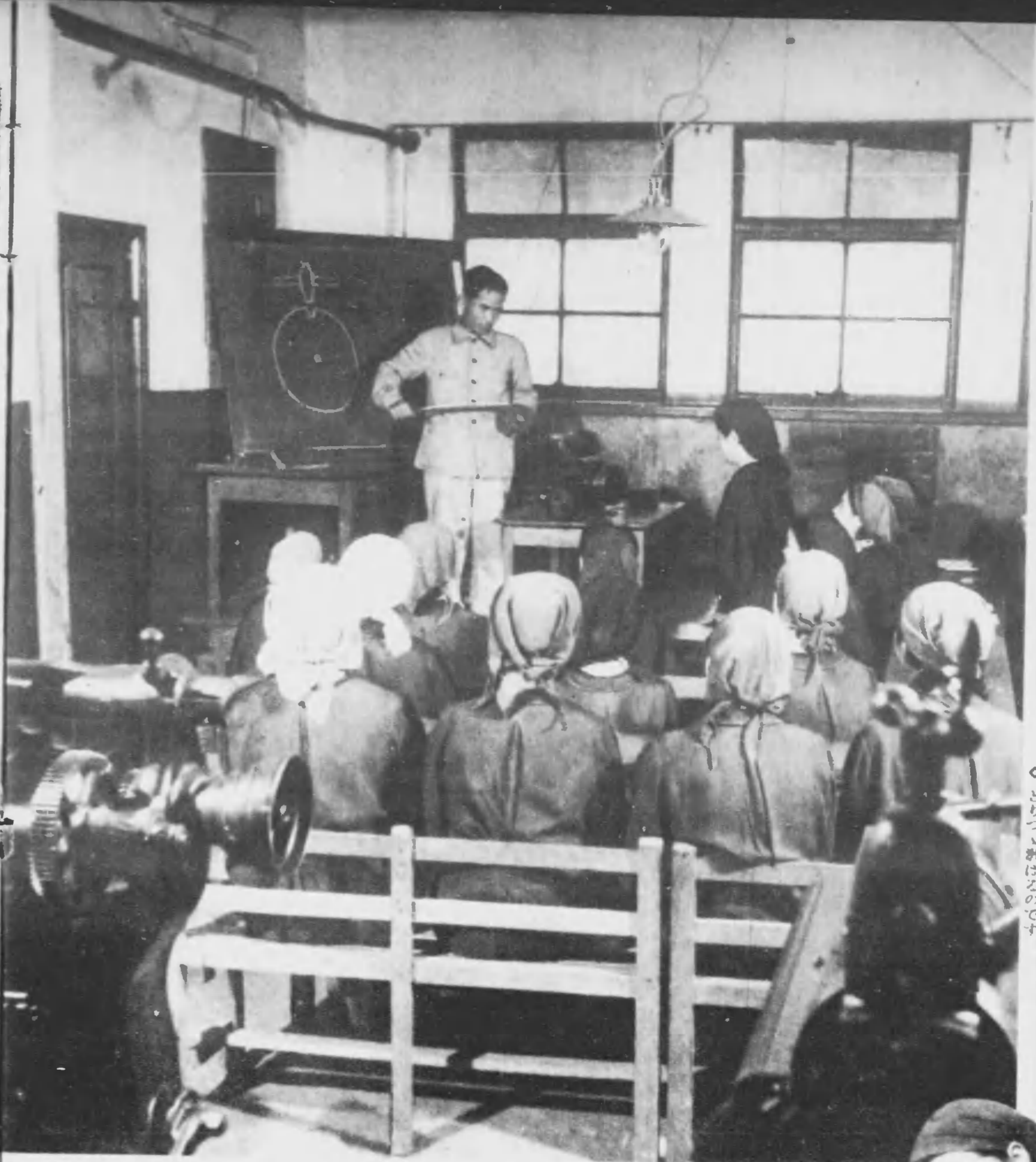
九月七日、比島憲法草案を承認すべき特別全島代表者大會で演説するラウレル氏



職場への進出にほまづ技術を

女子機械工補導所 東京

こゝは實習即教授です。機械の構造、性能、その扱ひ方、取扱と買物とを同時に見比べ、手にとりつゝ教はるのです。



仕上げ作業の一つであるやすりかけ、たがね打ちの實習。先生が丁寧親切に教へてくれます。

女性もすべからず戦時配當に——前線へ、生産の第一線へいであつた男子のあとをまもり、また自らも生産の第一線へ敢然挺身しようとする決心された女性性は、俄然ふえたことと思はれます。

しかし、さて、職場、殊に機械工、製園工など、技術を要する工員として職場に進出しようとするには、まづ技術を習ひおぼえることが必要です。会社、工場などにいきなり見習として入り、技術を教はるといふ方法もありますが、政府はみなさん方のために直營の女子機械工補導所、女子職業補導所を設け、いろいろの特典を與へて技術を教へておます。けなげな決心をされたみなさん方は、是非この機關を利用して、まづ生産戦士、職業人としてのしつかりした基礎をきづいて下さい。

國營の女子機械工補導所は現在のところ、東京都神田區錦町二ノ一にある東京神田女子機械工補導所と、名古屋市千種區花田町三ノ一五にある鷗島女子機械工補導所の二箇所です。

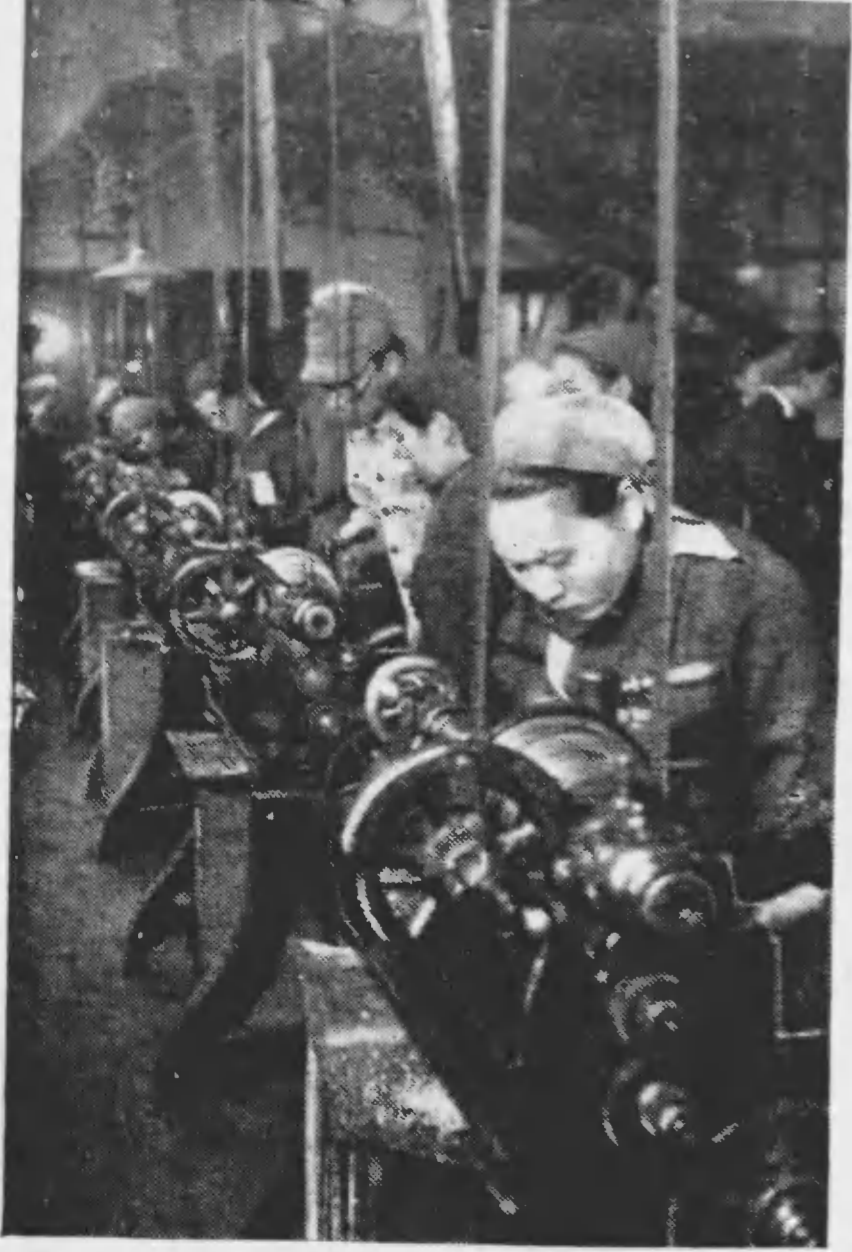
この他、東京電話交換手補導所、大阪府女子機械工補導所（府巻）、木工、製園事務（珠貫、堀記）などを教へる東京神田橋職業補導所、岩手縣女子職業補導所、長崎縣佐世保製鋼補導所など、そのほか全国各地にみなさん方のための補導所が設けられておます。詳しいことは最寄の國民職業補導所でお尋ね下さい。

↑ 大きな装置、大きな機械をつくるには、材料が非常に多くなります。その製園には女性も実習院に於いておぼえます。

↑ 旋盤の實習です。正確に削らうとみんな一生懸命です。



職業補導所ではタイプライターも扱へておます。事務員、特に簿記、會計の業務員として立つには計算が一番大目です。簿記をめぐり、早く習得してください。





職場への進出にほまう技術を

パリカンの使ひ方も基本訓練から——右頁右

手つきはもう一人前だ。チョコキ〜〜快い鉄の音が教室いつばいに

女子理容師補導所

—東京—



生理衛生や精神訓話、鍛錬等の學課の間に、働く乙女に似せしめを失はせまいと、合點の時間。

女子でできる仕事は何でも私達の手で、と男子従業員禁止と女子の勤勞動員が發令されてから、全國女性の職業職練參加の熱望はすさまじいほどに燃え上り、官廳、會社等の事務補助者に、鐵道職員にと各方面の職場へ續々と志願者が殺到してをります。東京の深川皆働婦補導所の女子理容師補導所には、來年三月限り従業員禁止になる男の床屋さんに代つて、職方の理髮は一切引受けようと、鉄ヤパリカンを手に立ち上つた娘さん達が、技術に、學課に、鍛錬にと腕き、の先生達に指導され、せつせと腕を磨いてゐます。鉄をハンマーにかへて、剃刀を旋盤のバイトにかへて、男の方々よ、安心して新しい職場に就いて下さい

どうにか鉄も動くやうになつた。今度はタオルをかぶつた先生の頭で刈込のお稽古。茶煙練習も終つた。もうこれなら大丈夫。とお客さんの頭を、先生が急所々々をこまかく注意して下さる。もうもう一人前だ

働く女子には温い思ひやりと汎設備を

「私たちが運んだ飛行機で戦勝を支援して貰おうと女子工員の意気込みはひとしほ

「飛行機に必要とならぬヒマの採集は、嬉しい閑居の時間に...



男子工員の出征に三百三十名の女子工員が奮闘を誓ひて立ちまゐりて



白晝の作業に汗も正しく、茶道と古典に傳統を學ぶ



十五分に六七名が起居する片時もいへる和やかな寮が乙女の憩ひ場所だ



熟練した先生に教へられて、もよみでは前物の仕立も一人前だ



法眼に備へ、増産に突進する各工場では、みなさん方女性の進出を
手をひろげて待つておます

航空機工業などでは、敵アメリカでさへ三分の二以上を女子が占め、将来に女子の産業となるだらうといはれてゐる位で、女子の性質にうつつけの産業です。綿密で一つ仕事に倦まず、力のいらぬない職場があなたたちを待つてゐるのです

いまの工場は、昔のやうな設備の悪い工場ではありません。採光、換気等の施設も整ひ、料理、裁縫、育児、音楽等の指導も行はれ、工場



製菓の時間は仕事を忘れて、女の務めにしたのしく働か見事な機前ぶり



お宝のために書いて貰ったお金はお國へ野金。ふよる野金も働くところ……



「手紙が来たわ」戦地の兄さんから、故郷からの便りにわつと戦況が湧く



働く女 温い思ひやりと設備を

日本精工〇〇工場

↑ 起床とともに、清潔な化粧室で、きつ身づくろひするの、女のたしなみ
 ↓ 全員異国語をまじり、女子だけが自治の寄宿舎に朝の點呼の聲が、けしきよい
 ⇨ 手紙のぬい細い仕事、女子たちが國に役立ち、うれしさに短はす



は働きながら學ぶ勤勞女學校といつてよいほどです
 あなたたちが出征と同じ心構へで、お國の戦力を強めるために安心して働けるやうに、作業場、便所、洗面所、更衣所等を男子と別にすると、冷えないやうにモンペを作業衣にすると、保健の上からも、風紀の點からも、いづ／＼工夫してゐます。こゝに紹介する工場は女子に對する施設の優秀な工場です
 もし、いままでも女子のための施設の不完全な工場で、女子工員を今後大いに使ふやうな工場では、お國のために身を捧げて働く女性のため、どうかこの寫真を参考に大いに設備を改善してあげて下さい



◻ 郷土の新山に露大洞
を見出す



◻ 古生層の奥深い秘境、千古神鏡の入らない
原始林を越えて調査の努力がつけられる

山頂に立つて重なる
山々の層を眺めると
山々の層を眺めると
山々の層を眺めると
山々の層を眺めると



金銀銅鉄、非金属
資源のめざま
しい戦時用途
の重要さを痛
感する先生たち
こゝが秩父古生
層、花崗岩が
うもれてくるか
ら、きつと鏡が
見つかるぞ、と
地質図をひろげ
て埋もれた資源
探査を計画する

地下資源開発講習会
— 長野県 —

眠る資源へ
学校探鉱隊出动



内地にはまだ開発されてない幾多の地
下資源が眠っている。戦時國家が要請する金
屬、燃料等を含むこれらの資源を開発して、戦
力の増強をはかるため、政府ではさきに「地下資
源緊急開発措置要綱」を決定し、専門學校教授、學
生をはじめ、一般學生生徒、一般人等を動員して重要
資源発見と舉國的な態勢を立てたが、これに應じて、

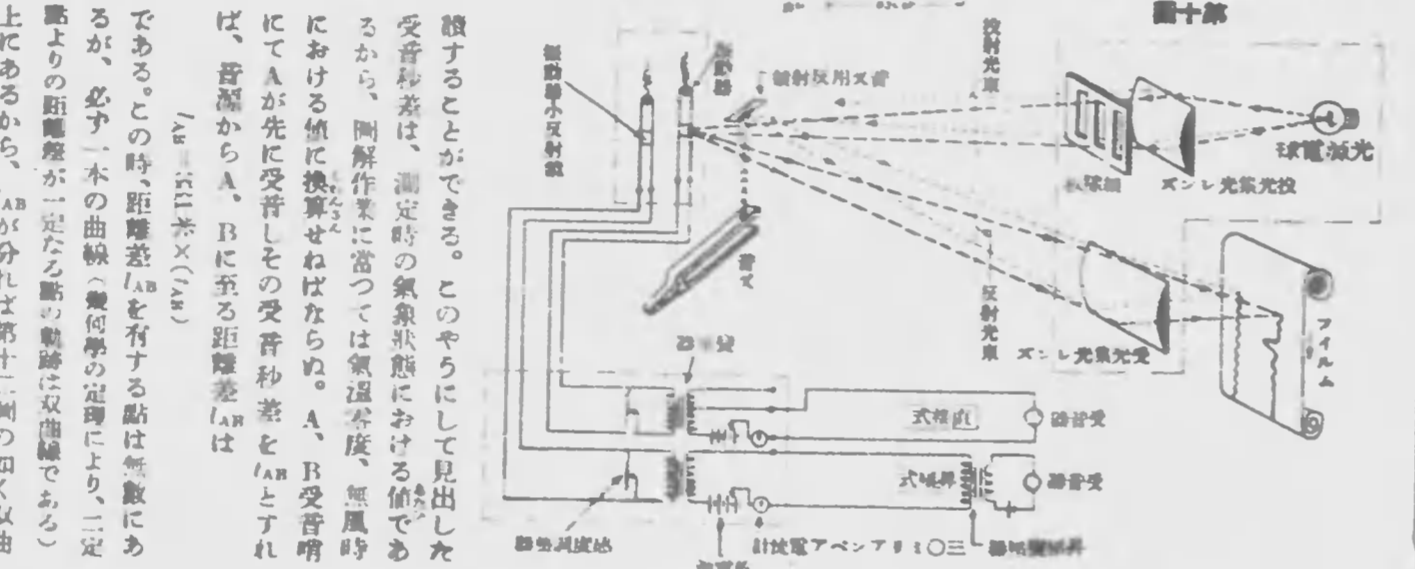
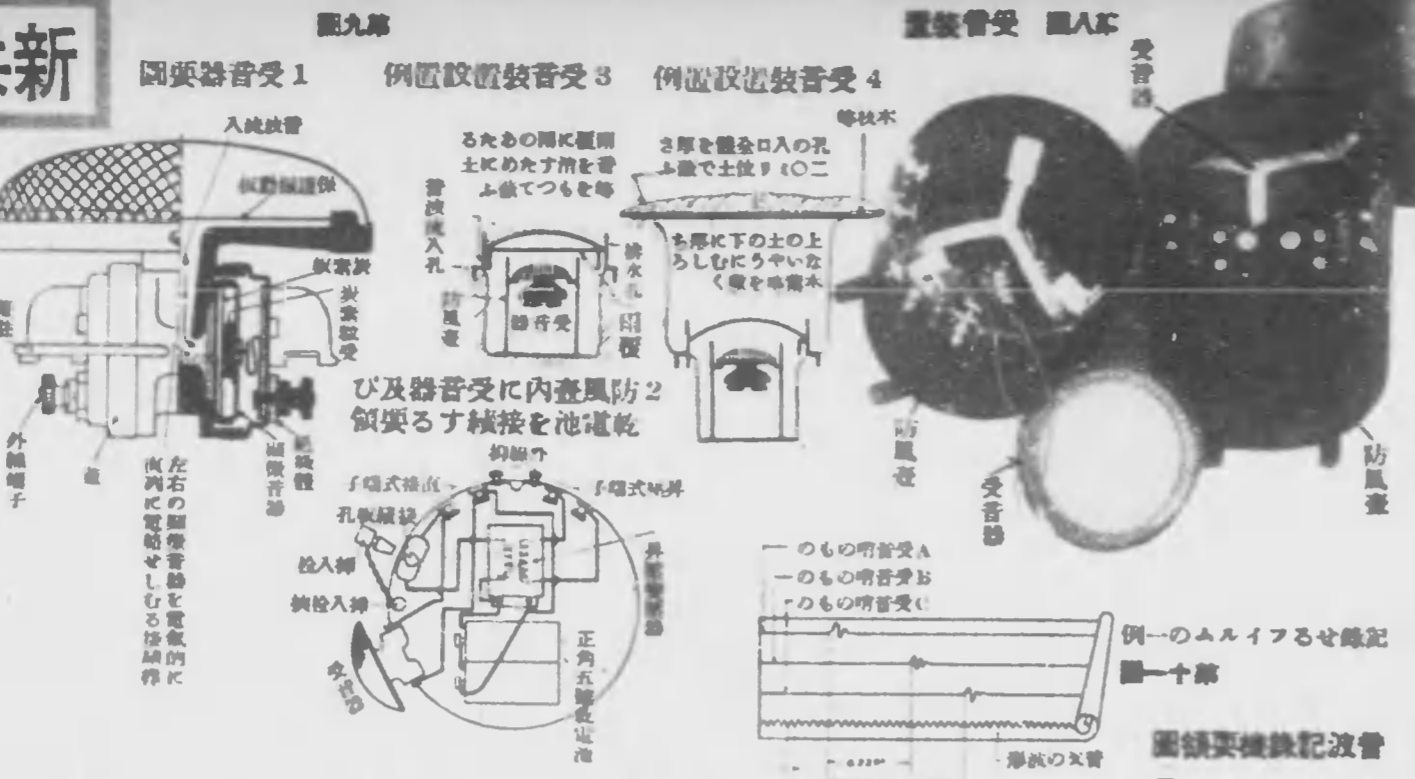
県ではまづその準備として資源開発
講習会を開き、指導に當る各中等學校の先
生達の基礎的な知識を深めたが、地質學
的にみて織の出さうな古生層と花崗岩、
石英粗面岩の接觸部や、マンガンの古生
層、第三紀層の凝灰岩、安山岩等銅、
鉛、火成岩と水成岩の接觸部、アンチモ
ンの中生層等の探鉱地帯をもつ同縣下の
學校探鉱隊は、一岩一石にも鋭い眼を
光らせ、一切の地下資源を掘り出さうと
軍需の山岳に向つて突撃を開始してゐる



下野県産のチアスボール、北安堂
の無煙炭、宮川山山のニッケル
を手にとつて、細かい研究が續け
られる

2 學科の器兵新

うなマイクホン、即ち電話送話器の一種で、音波記録機は、第十圖に示す要領のものである。即ち受音された音波は電流となつて振動器に導かれ、取付けられた小反射鏡を振動させるから、電動機で常に等速度で繰出されるフィルム上に、この振動波が記録されるわけである。この際、又、毎秒五十振動をする電磁的音叉により鋸歯状波が記録されるから、第十一圖に示すやうに、A、B間及びA、C間の受音秒差を看



横江を描くことが出来る。又、H、C点についても同様の双曲線が求められるから、結局、第十三圖のやうにH、Cの交点を求めれば、これが音源、即ち大砲の位置である。このやう

音の利用の最も重要なものは、水中の場合である。例へば水雷艇として通信を行ふ場合にも、電磁波や光波は波衰が甚だしいために、音波のみが實用に供し得るのである。しかも、水中音波通信法は潜水艇の航行にも使用できる唯一の通信方法で、電波の空中線のやうに空爆や磁界の危険の多い場所に通信用途が露出しないといふ利点があり、又、超音波（振動数が二万回以上、耳に聞こえない音波）を用いて、鋭敏な指向性を持たせると、通信の秘密度が高くなるといふやうな利点もあるのである。

水中の音源を捉へて、他の船舶の方向を探知したり（水中音源機）、自船の位置を決定したりすることも出来るが、前者には次ぎのやうな方法がある。

1) 受音機の指向性を利用する方法
2) 二つの受音機を用いて、それらの音を左右の耳に導き、且つその中間に電磁機といふものを置いて、位相を補償して方向を決定する方法
3) 直管内、或は平面内の開管上、又は球面上に多数の受音機を分布し、それらの受音機に入つた音を相加、感度の極大と位相の補償によつて方向を決定するものである。最も正確な方法である。次に反響測深機といふのは、船舶から海底に向つて音波インパルスを送射し、それが海底で反射して歸つて来る時間を測定して水深を求め、近來極めて便利な装置が船舶と現はれてゐる。又、これと同じ原理で潜水艇等に超音波を送射し、その反射波によつて距離を知ることが出来る。（丁度電波探知機）



音源兵器の代表的なものは空中音源機である。空中音源機は普通大きな喇叭がついてゐるから、これは飛行機から出る音波を擴大するのと思ふであらうが、さうではなくて、空中音源機の目的は音波の傳はつてくる方向を、直接耳で聞くよりも精度よく測定し、飛行機の實際位置を決定するために用ひるものである。

音源はとりして判定出来るか。われわれが二つの耳で音を聞けば、それが右から来るか左から来るかを判別できるが、片方の耳を蓋げれば音源を判定する能力がなくなる。即ち二つの耳がある場合には、各々の耳に達する音波の強さや位相が違ふので、もし音源が右にある時は音が後頭部の右に集つてゐるやうに、また左にある時は頭の左に集つてゐるやうに聞えるのである。この音の集りを音像といつてゐる。即ち音像が後頭部の中央に感ずるやうな位置が音源に正對してゐる位置である。

そして、この音源方向の判別は、二つの耳の間隔が大であるほど容易であるから、聴音機で

に、受音機の数は最少三箇が必要で、多いほど正確に位置を決定することが出来る。又、この装置によつて記録した波形により、砲の種類や口径等も判別できることがある。

水中の音

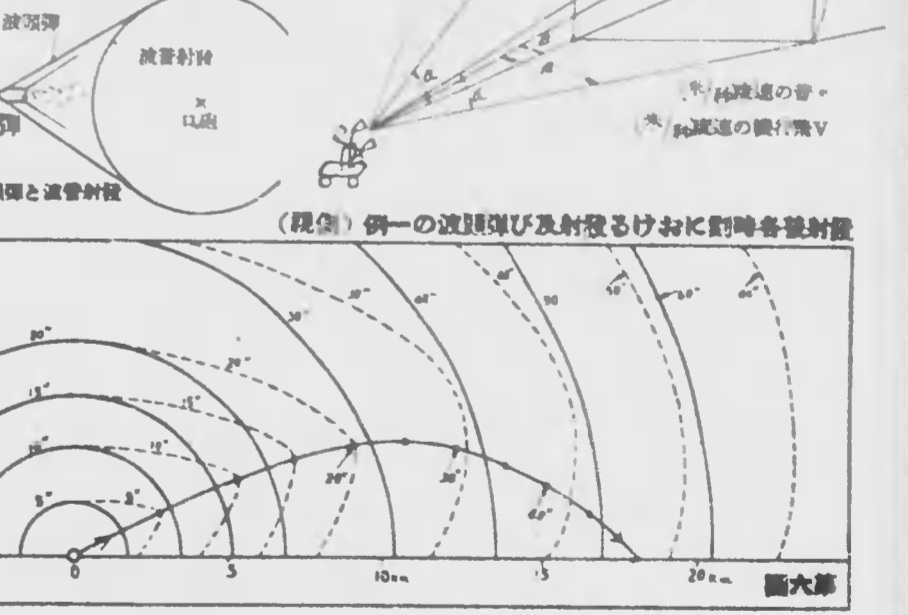
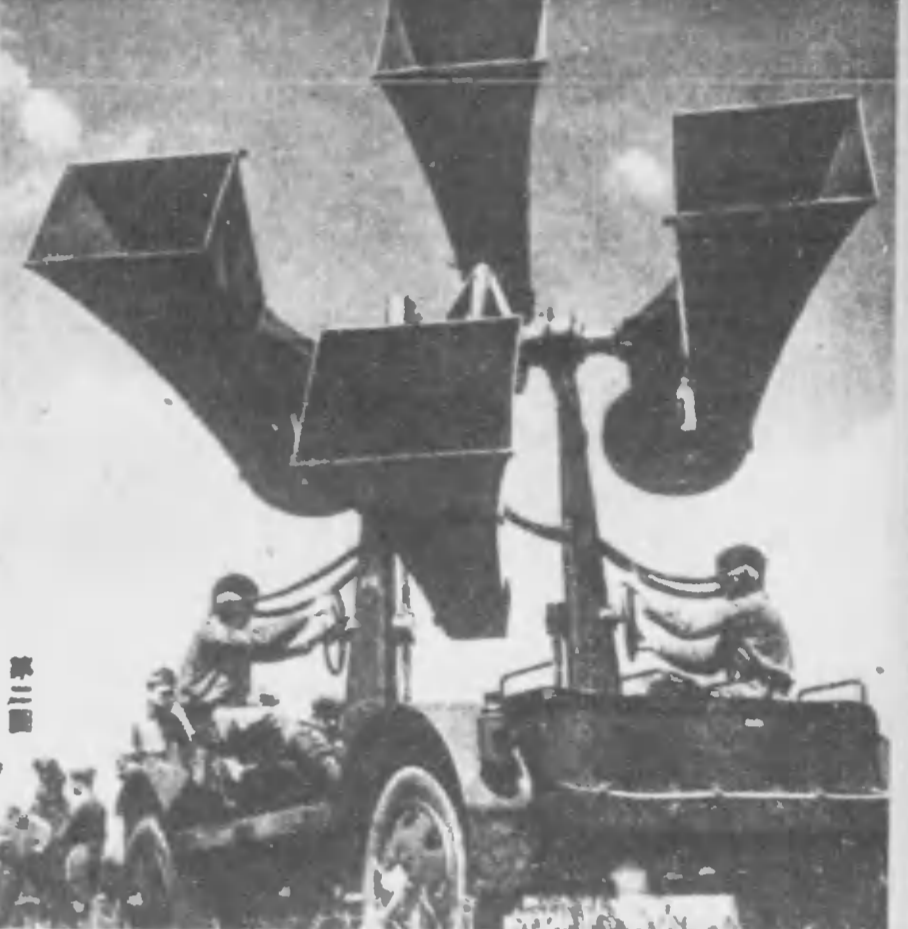
音の利用の最も重要なものは、水中の場合である。例へば水雷艇として通信を行ふ場合にも、電磁波や光波は波衰が甚だしいために、音波のみが實用に供し得るのである。しかも、水中音波通信法は潜水艇の航行にも使用できる唯一の通信方法で、電波の空中線のやうに空爆や磁界の危険の多い場所に通信用途が露出しないといふ利点があり、又、超音波（振動数が二万回以上、耳に聞こえない音波）を用いて、鋭敏な指向性を持たせると、通信の秘密度が高くなるといふやうな利点もあるのである。

次に音の響つた利用を述べよう。例へば、戦場において、將兵に精神的打撃を與へるために、音だけの空襲や砲撃をやつたり、或は戦場における各種の音波を記録、作製し、これを大きなスピーカーを装置した大砲に取りつけて、夜間敵の方に向つて飛ばし、敵の神経を多からせようといふやうなことも考へられてゐる。又、今次戦争においてドイツ軍はロンドン爆撃に特殊な音波をつけて投下し、或は機翼に音波を装置して急降下した等といはれてゐる。このやうに、音波も使ひやうによつては、敵の聴覚を攪亂し、狂氣感を生じ精神に與へるやうな攻撃兵器、奇襲兵器ともなり得るのである。

音の未來兵器

次に飛行機までの距離を求めるのに似てゐる。このやうに、水中における音波、超音波は、俗にも空軍中における電波の如く、極めて重要な役割を果してゐるのである。

機定標源音



次に音源標定機といふのがあつた。これは敵の大砲音を利用して、その砲兵陣地の位置を知る装置である。大砲を撃つ時は通常、撃射音波、弾頭音波、破裂音波及び摩擦音波を生ずるものである。撃射音波とは第五、六圖に示したやうに、空軍中における音波速度をもつて砲口を中心として球面状に傳播するもので、弾頭音波も同様に明らかであらう。破裂音波は、破裂點を中心として空中における音波速度を以て球面状に傳播し、摩擦音波は弾丸の後方より不規則の波形を以て傳播するものである。

（註）空軍中における音波速度は気温等度において毎秒三三〇メートルで、気温一度を增加すれば三〇メートルを加へる。即ち、例へば気温九度ならば、その時の音波速度は、メートルは $V = 330 + 0.6 \times 9 = 335.4$ である。

さて、音源標定の要領は、第七圖において、大砲からの撃射音波が既知座標の三受音機A、B、Cに達する時間の差、即ち受音秒差を測定し、これに音波速度を乗じ距離差 l_{AC} を求め、これを基準として圖解作業により音源位置Sを求めるのである。受音秒差を測定するには、各受音機に受音機を配置し、往復線によつてこれを主音の音波記録機に接続して音波を電流に換へ、なほこれを光に換へて、フィルムに記録するやうになつてゐる。受音機は第八、九圖のやう

小田 小田 小田
決戦下、食糧の確保に、何んでも無駄のない増産を心掛けよう。こゝ、東京都立川市の近郊、稲田村では、全村挙げて水田利用の拡大を思ひ立ち、稲作の増産に手を加はして貰ったところ、どの家でも段々三、四畝から五畝といふ羨ましい収穫で、早速に食糧を配したばかりでなく、残りは不時の食糧に確保しておかうと大喜びです。



★表紙
午後からは習習がはじまる。午前の学科で教はつた機械の構造、性能、操作法を生きた機械に向つてのみこみ、操つてゆく喜び、いままでの人生に一度も感じることできなかった喜びと驚きと、生涯の第一杯にこだでする日の香りとを胸一杯に感じながら、暇よ若い女性たちは今日も一心不乱の習習をつづける。
東京神田橋女子機械工務所



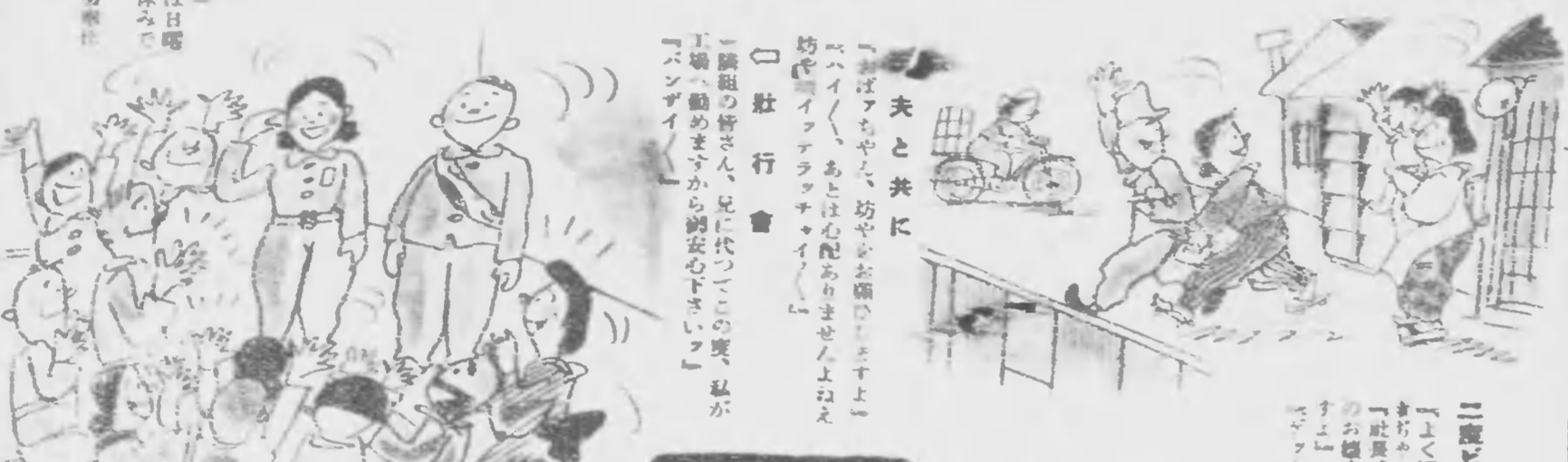
若狭に真心こめた贈物
東京 有田 智徳
航空日を飾る一俵の赤城を運んだ愛国献納飛行機三百五十七機の献納命名式は、羽田の東京空港で盛大に挙行されましたが、東京献納の小夜嬢子さんは献納機搭乗の花婿に、真心こめた鶴ヶ岡八幡宮のお守りつぎ人形を贈つて男士たちを励ました。



照準器



「学校を卒業するまで、照準器を目標にしよう。お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、みんなが、この照準器を目標にしよう。お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、みんなが、この照準器を目標にしよう。」



夫と共に
「お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、みんなが、この照準器を目標にしよう。お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、みんなが、この照準器を目標にしよう。」



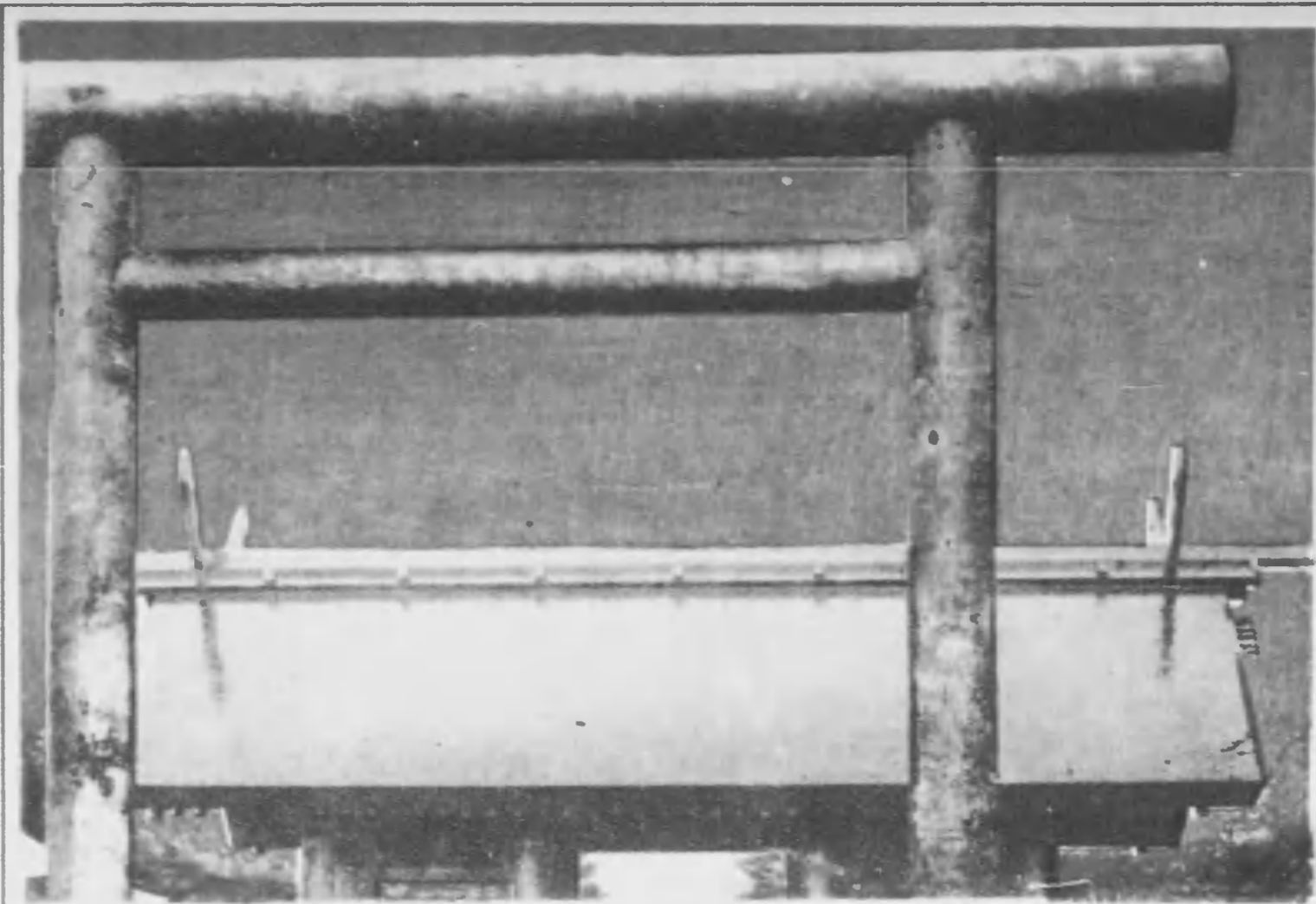
母もともに
「お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、みんなが、この照準器を目標にしよう。お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、みんなが、この照準器を目標にしよう。」

大東亞戦争漫画日記



我が艦隊千数百隻出撃、米乙艦を撃沈
日艦伊國艦隊今日に新政府を攻撃

写真週報 昭和十八年十月十日 発行所 東京 丸の内 丸の内郵便局 電話 二五七二



靖國の御霊にこたへよ で券債・債國

券債國報・蓄貯金債國争戰亞東大

日五月一十 ← 日十二月十 出賣

金貯債國

内閣印刷局印刷發行

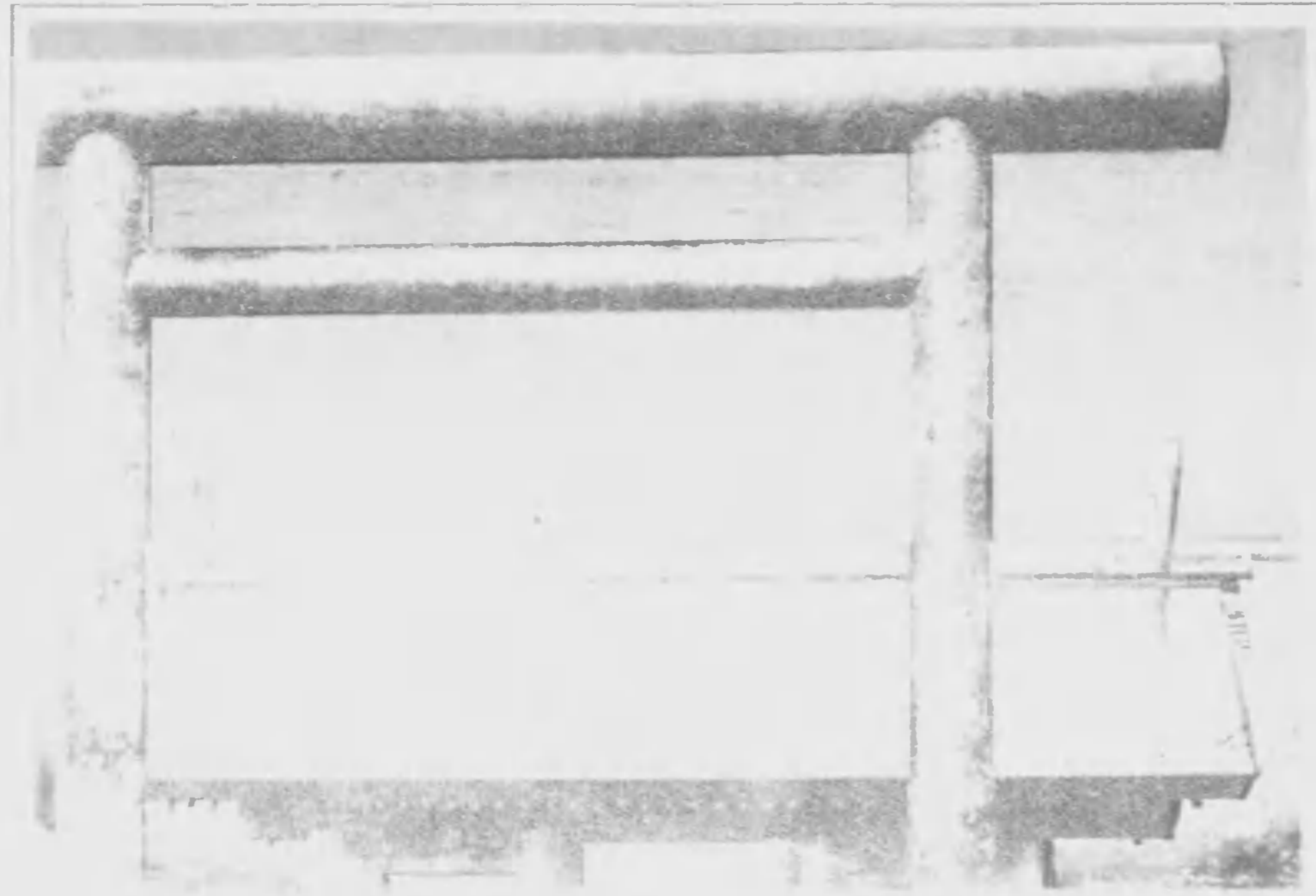
本誌を回覧に
前線慰問にも
本誌を回覧に
前線慰問にも
本誌を回覧に
前線慰問にも

本誌を回覧に
前線慰問にも
本誌を回覧に
前線慰問にも

本誌を回覧に
前線慰問にも
本誌を回覧に
前線慰問にも

本誌を回覧に
前線慰問にも

手露光量違いにより重複撮影



靖國の御霊

國債・債券

國債の購入に代る

國債貯金

組割の當りも國債・債券を買ふに代りに
なるべし利便を金貯債國く

大蔵省

昭和十一年